

安全に関する改善事例

記入日: 2005年 10月 28日

(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

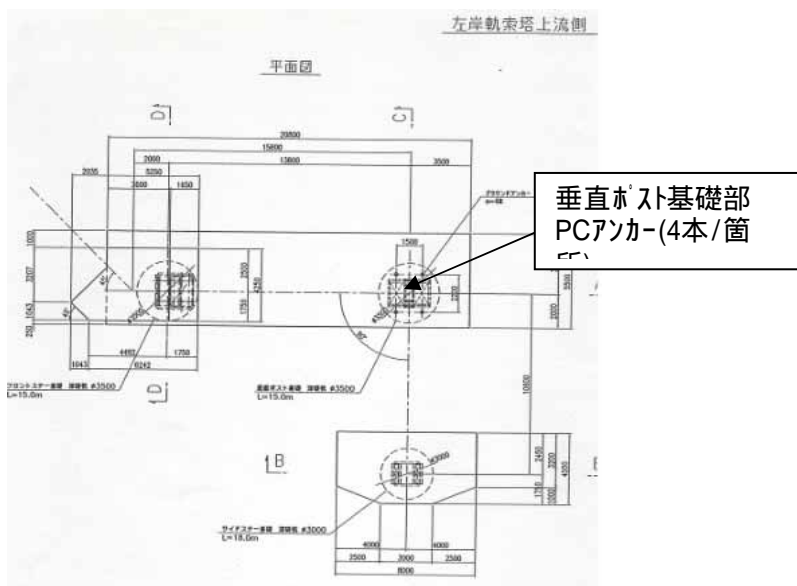
記入者:

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m3)
灰塚ダム	広島県	中国地方整備局	G	50	196.6	168
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
施工	コンクリートダム堤体工	倒壊・飛来落下	設備要因	上下作業	有 : 無	
改善の概要: 軌索塔基礎のPCアンカーに荷重計を設置しその変動をリアルタイムに監視する ケーブルクレーンから基礎にかかる荷重は大きく、特に垂直ポスト基礎では引き抜き力(5~6,000KN)に対して自重+グランドアンカー4本で受け持たすこととなる。また、ケーブルクレーンが稼働するたびに荷重変動が発生するためアンカーの確認と計測が必要となる。					特許の有無 有 : 無	
メリット: グランドアンカーの荷重計自動計測によりクレーンアンカーの安全性をリアルタイムに把握できる。			デメリット: ロードセル費用とデータ伝達費用が必要となる。			

改善前 (略図または写真)

安全確認は現地目視確認または現地定期計測確認による。

改善後 (略図または写真)



設計アンカー力
 上流側: 990 KN/本
 下流側: 1,210KN/本
 ロードセルtype
 圧縮センターホール型荷重計